

「知」と「技」を兼ね備えた プロのエンジニアリング集団として

【エンジニアリング本部】

お客様のニーズに応え 安心を届ける

エンジニアリング本部は、主に愛媛県の松山市と新居浜市、伊方町を拠点として総勢46名体制で事業を展開しています。住友化学グループ、東レ、帝人、太陽石油、四国電力など大手工場のお客様のニーズに合わせて、システムグループ、カスタマーサービスグループ、原子力グループと3つの部門で「提案、構築、保守」の3つの要素を兼ね備えたトータルエンジニアとして、様々なシーンで活躍しています。

システムグループは、工場を中心にシステムの提案や設計、構築を行います。主に、工場の省力化システムの構築にDCSやPLCなどを用いてお客様のニーズに応じてきました。また近年では、工場内だけでなく、ダムや高速道路の監視カメラのシステムまで携わっています。IT技術の広がりとともに、従来のPA工場からフィルムなどの機能膜を取り扱うFPA工場まで、幅広い分野で培ったノウハウを活かして、四国のお客様の中で活躍の場を広げています。

カスタマーサービスグループは、工場内の機器のメンテナンスや保全提案を行います。お客様が購入した機器を取り付け、初期調整を行う「スタートアップ」や工場の安定稼働のための「定期点検業務」、急な不具合が生じた際に対応する「緊急対応」などが主な業務です。メンテナンスでは、制御機器や各種センサーを扱う確かな技術が欠かせません。また、修理やスタートアップなどには、豊富な知識が必要になります。他にも、様々な校正用機器を取り扱い、50年以上の間、四国内の大手工場のお客様に安心をお届けしています。

原子力グループは、伊方発電所内の保全業務全般を行います。場所柄、大変厳しい安全対策が求められる中、現在11名のメンバーが日々のメンテナンスのために発電所内に常駐しています。近年何かと話題に上る原子力発電所ではありますが、「四国の電気の安定供給を守る」をスローガンに約40年間、伊方発電所内を中心に四国の電気の安全を守り続けています。

エンジニアリング本部長 馬場 昭博





【エンジニアリング本部】今後の展開

これまでのベースを伸ばし 業務の幅を広げていく

エンジニアリング本部では、愛媛県を中心とした大手工場のお客様に対応するため、常に高いレベルの技術が求められています。そのため、「お客様の期待を超えるクォリティーで、地域を幸福にするプロフェッショナル集団を目指す」ことを大きなビジョンとして掲げています。また、人間性を高めることも重要視し、フィロソフィーをもとに正しい判断基準を身に付けていきます。お客様に専門力や提案力、対応力を駆使した技術力を提供することがエンジニアとして欠かせないスキルであり、専門性の高い業務において、各種資格取得や届出などは、技術者としての裏付けになるため、資格取得のチャレンジを推奨していきます。

今後は、「大豊産業に依頼すれば納品から取り付け、ソフトウェアまで、すべての工事を一貫して行える」ような体制をとることで業務の幅を広げていくことを目指しています。お客様にとって発注先を一つに集約できるメリットは大きく、スタートアップや修理以外の工事が増えるため、一貫して請け負う体制をエンジニア本部としての強みとしていきたいと考えています。

システムグループでは、主戦場となる四国内大手工場でのDCS関連業務から収益をあげることを中心に考えています。日本国内最大手である横河電機の代理店であるという強みを活かし、四国内で工業生産高の高い松山エリア、新居浜エリアのお客様を中心に作業の効率化と収益性を見込み、今後は大手工場のDCSを中心とした周辺システムの情報化に伴う上位システムを活躍の場と考えています。さらに、第3営業部との協業で計測監視システムを構築、IoT関連については、これまで取引のあるお客様において、培った技術を活かした提案を行っていきます。今後、人口減少、お客様のコスト削減要求の中、カスタマーサービスグループの需要は増えてくると予想しています。競合他社のメンテナンス業者では高齢化が進んでいる一方、大豊産業はサービス員の平均年齢が若く、今後も長期的なお客様との関わりの中、需要が拡大すると考えられます。そのため要請増加に応えられる人材確保が重要となります。また、メンテナンス作業は定期的に行うため、一度お客様と接点を持つと、その後の関わりが繋がり、地道な業務ではありますが、安定した顧客確保が可能です。このような状況に対応するためにも、社員のスキルアップと、協会社活用とのバランスを保ちながら収益性をアップさせ、安全と品質を強化していきます。また、メーカーとの協業により、業務の領域を拡大するなど、ベースビジネスを一つひとつ積み上げていくことが重要だと考えています。

原子力グループは、震災以来の逆風の中、将来に不透明感のある状態が続いています。ただし、発電所内で長年培った技術力と安全に関わる意識には高いものがあり、今後発電所内外での新規業務確保に向け、各自の意識を変えることで南予地区を中心とするエリアで発電所外での業務にも積極的に挑戦することで地域産業の発展に貢献するとともに、大豊産業の強みである各種メーカーと地元を繋ぐ役割を果たせるよう、さらなる技術力の向上、安全に対する意識を向上させていきます。

エンジニアリング本部全体としては、年々お客様からの要求レベルが上がっている中、今まで以上に安全や品質に対する意識を向上させ、四国内大手工場を中心とするお客様に高い技術力と安心を届けていきます。そのためには新しい技術、技能への積極的な挑戦と若手への技術継承を行うことで、四国内での活躍の場を広げ、地域産業の発展に貢献できる人材の育成を進めていきたいと考えています。

